

社会医療法人 清風会
法人だより

清風

冬号
2022年1月1日 vol.68



▲当直明けの朝 五日市記念病院本館屋上より(撮影:経理部門 増田博一)



社会医療法人 清風会

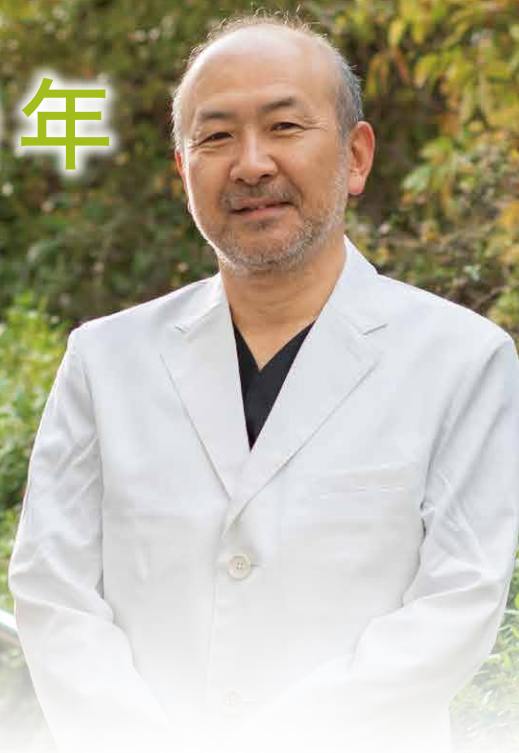


五日市記念病院・廿日市記念病院は
(公財)日本医療機能評価機構の認定病院です

2022(令和4)年 年頭のご挨拶

社会医療法人 清風会 理事長
五日市記念病院 院長

むかだ
向田 一敏



新 年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染が始まって、丁度2年が経過します。長いようで短かった2年間ですが、世界中であらゆることが様変わりし、いつでもどこでもマスクをつけていない姿が不自然に見えてくるほど日常生活や習慣が変化してきました。幼稚園児や小学1年生の多くは、大勢の保護者や全学年の応援の中で行われる従来の運動会や、バスで遠出して一緒に弁当を食べ、皆で遊ぶ楽しい遠足すら経験することもできず、運動会は学年別に少人数で行うもの、遠足は歩いて行ける近場で、などと、コロナ前の日常では普通に行われていた楽しい集団生活の一面も体験出来ずに社会への第一歩を歩み始めています。きちんとした理解もできない年齢でウィズコロナ生活を余儀なくされている彼らの将来を思うと、憂いを感じずにはおれません。幼気な子供たちが、皆で遊ぶ時もマスクをつけている健気な姿を見るといじらしくもあり、一刻も早い感染の終息を願うばかりです。

同じようなことは、社会生活の第一歩を踏み出そうとする医療分野の教育においても言えると思います。我々が毎年受け入れている看護やリハビリなどの学生達は、オンライン授業が主体で病院実習にも行くことができないため、患者さんに接する体験もなく、そしてこれから苦楽を

共にする職場の雰囲気を感じることなく入職できます。入職後の全体研修もオンラインで分散開催、個別のOJTが主体で、以前は普通に行っていた入職後のグループ研修も思うように実施できない状況が続いています。家族面会や地域医療担当者との面接も制限せざるを得ない状態も相当期間続いたため、対面で相手の表情や雰囲気を感じながら対応するノウハウを学ぶ機会も激減しています。それでも今後、新型コロナ感染症と永らく付き合っていかなければならないウィズコロナ社会が続くとなれば、入職後(卒後)教育の考え方や手法を再検討し、若い人達が入職後に戸惑うことなく研鑽できる教育・指導方法や体制を構築していく必要があると感じています。更に、指導する立場にある先輩スタッフや管理職に対する指導法についての再教育も非常に重要と思います。従来、指導層の育成は、若手の人材を人財に変える要と考えていますが、今後も続くと思われるウィズコロナ時代の入職後教育の方策を当法人の重点課題のひとつとして早々に検討する必要があると思います。

さて、当法人清風会では、本年2月1日からの稼働を目指して電子カルテの更新作業を進めています。五日市記念病院と廿日市記念病院の両院での同時更新です。五日市記念病院は2007(平成19)年7月に電子カルテを初回導入後、今回が3回目、廿日市記念病院は2015(平成

27) 年1月に続いて2回目のシステム更新となりますが、今回の更新はこれまでのベンダーを変更することになり、新規のシステム導入ということで膨大な作業が必要となっています。法人IT部門がリーダーシップをとり、両院の全部署とベンダースタッフが協力して、現在更新作業を遂行中です。丁度、新型コロナ感染の第5波が到来し、緊急事態宣言が発表されている最中に本格的な作業が開始となったため、職員、ベンダースタッフ双方の感染防止対策を徹底する必要がありました。特に県外から来訪する大勢のベンダースタッフには、院内感染防止のために頻回のPCR検査を受けてもらうことになりましたが、快く協力していただいたことに感謝いたします。

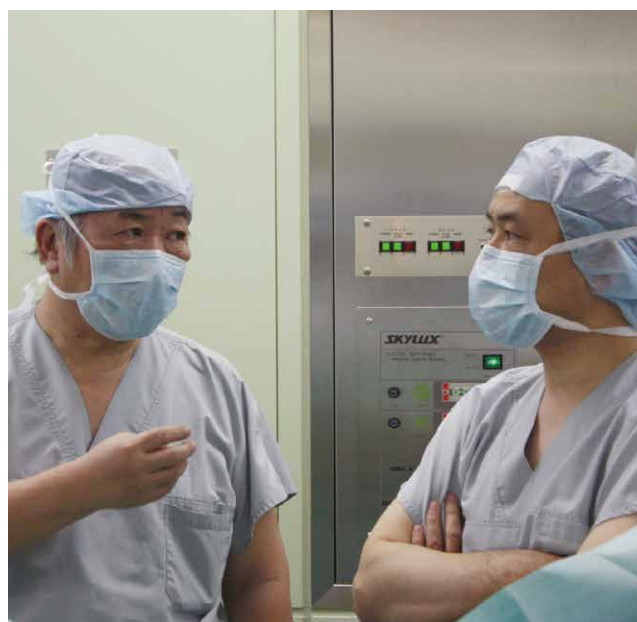
新たな電子カルテシステムの導入により法人全体の各部署での業務の効率化を図り、より進化したシステムを以て一層緊密な連携がとれることで、両院が一体化した“清風会病院”としての動きをこれまで以上にとることを期待します。更に、医業統計を充実させ、医療経営分析にも役立てることにより更なる経営改善に繋げることができると考えています。そして、業務の効率化により得られた時間を、各部署での教育活動や職員間の有意義なコミュニケーションに当ててもらいたいと思います。“働き方改革”が進められている中で、職員にあっては“時間外労働ゼロ”を目指して、貴重な時間を有効利用することを望みます。

新型コロナ感染症が蔓延したこの2年間でWebという直接触れないモダリティーが多用されるようになり、リモートワークを始めとして、医療分野でも学会や講習会、会議なども遠隔での参加が可能となりました。当法人の二病院間の会議やそれぞれの院内の会議でも、三密防止のため頻回にWebを利用しています。移動のための時間や交通費などの経費が節約でき、感染リスクも少ない状態で情報交換できる利点がある反面、臨場感やその場の熱気、雰囲気を感じることができない欠点があります。医療の現場、特に患者さんを診療することにおいては、どの部門においても直接診る(看る)ことは不可欠です。私がアナログの人間のためかもしれませんが、肌身で感じ、臨床的直観を培うことは、医療人としての能力を育む上で重要な要素であると思っています。ワクチンがかなりの頻度で接種されてきた現在でも、ブレークスルー感染によるクラスターが散発していますし、最近では、新たな変異種の出現と急速な拡大や規制を緩めた諸外国で再蔓延が発生している状況などを見ますと、マスクの要らない世の中への回帰はなかなか望めそうもありません。

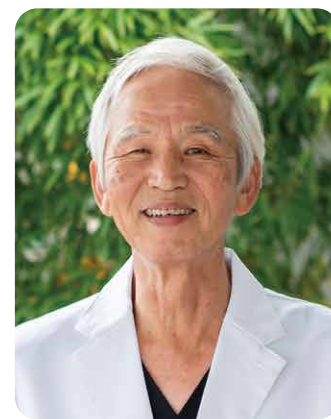
辛いことではありますが、マスク・手洗い・三密防止の基本的な感染防御・蔓延防止対策を徹底して継続しつつ、デジタル的対応とアナログ的対応の双方を上手く使い分けながら、日々の診療や法人内教育を進めていく必要があると考えます。

患者さんを始めとして当院をご利用いただいている方々には、引き続きご不便とご迷惑をおかけします。清風会は感染規制が少々厳しすぎるのでは、との声を時に聞くことがありますが、新型コロナ感染症はまだまだ油断のできない状況下にあることをご理解の上、ご協力、ご支援いただきますよう、宜しくお願いいたします。

さて、末筆になりますが、この度、札幌禎心会病院 脳疾患研究所所長 上山博康先生に、五日市記念病院 脳神経外科特別顧問にご就任いただくことになりました。上山先生には、2011(平成23)年1月に始まり約11年のお付き合いをしていただいております。その間、一筋縄ではいかない難しい脳血管疾患の手術のためにたびたびご来訪いただき、手術を直接ご指導いただくのみならず、脳神経外科医、あるいは医療人として、そしてひとりの人間として如何あるべきか、など、先生の蘊蓄を傾けて下さる機会を得て、他では得難い勉強をさせていただいております。今後、五日市記念病院をこの地域の脳卒中センターとしてより充実したものにするためにも、今回、脳神経外科特別顧問へのご就任をお願いしましたところ、ご快諾いただきました。引き続き我々をご指導いただきますよう、宜しくお願いいたします。



2022(令和4)年を 迎えて



廿日市記念病院 院長 浅野 拓

社 会医療法人 清風会は昨年7月に開設30周年を迎えました。

恒例の年賀状のやり取りは年々減少傾向が続いておりますが、皆様方に改めて新春のお喜びを紙面を借りて申し上げます。

過去2年間は新型コロナの見通せない恐れで全世界が振り回され、ワクチン接種の普及などで罹患率、重症化率の低下は認められてはいるものの、感染後の後遺症で困っている人も沢山いる中、新たな変異株(オミクロン株)による第6波が危惧されている現況です。

11月の岸田新総裁の施政方針演説“新しい資本主義の実現(新自由主義の転換)、成長と分配(所得の再分配による格差の是正)”に期待しながら、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置なく、ウィズコロナで活気が取り戻せたらと祈念している今日この頃です。

ところで、1年間延期された東京オリンピックは開催するにあたり賛否両論でしたが、無観客で余り盛り上がりなくして終わったという印象は持ちました。あくまで個人的な見解ですが、アメリカの放映権主体でスケジュールを決めずに開催都市で気候の最もよい時期や時間を選ぶべきでしょう。

また野球は普遍的ではなく、(大谷選手の歴史的な大活躍はよろこばしい事でしたが)ゴルフはマスターズ、

サッカーはワールドカップなどのオリンピック以上に大きな大会があり、あえて種目に加えなくともいいし、また、よくわからない競技種目が多すぎるのではと思います。競技の原点は、陸上競技や水泳などのタイムや物差しで測れる記録、卓球やバレーのような勝敗がはっきりし、主観的な採点にとらわれないのが公平ですが。

余談はさておき、五市市記念病院は2021(令和3)年4月に稼働予定で、3テスラのMRI装置導入とそれに伴う増築の計画をしていましたが、コロナの影響で断念せざるを得なくなりました。(ところがその期間に新しい1.5テスラ装置は3テスラと遜色ないくらいバージョンアップされておりました。)

電子カルテの更新で新しく覚えた単語“ubiquitous(ユビキタス)”のもと、デジタル化、オンライン認証、オンライン診療(原則は対面診療が必須)など、事務的処理の効率化も図りながら、検診を含め予防医学の充実、急患への対応も充実させ、廿日市記念病院の特にリハビリテーション部門では、市中病院とのスムーズな連携を強め、療養病棟は介護医療院への転換はせずに、西部地域の方々の要望に応える医療療養病床を続けて行きます。

これからも職員一同精進しますので、会報を読まれた方も宜しくお願い致します。



副院長就任のご挨拶

五日市記念病院 副院長 脳神経外科部長 坪井 俊之



こ のたび副院長に任命されました、脳神経外科部長兼診療部長の坪井俊之です。開設30周年を超えた歴史ある清風会において、このような大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。

私は脳神経外科医でありすべての脳疾患に携わっておりますが、中でも特に注力しているのが脳動脈瘤の急性期治療とその予防です。医師25年目になりますが、脳卒中に苦しむ患者さんを救いたいとの強い思いから医師12年目のときに、脳神経外科手術手技を極めるべく、一念発起し北海道で、脳血管障害の開頭術で世界的に有名な上山博康、谷川緑野両師匠のもとで7年間の手術修行を終えて参りました。

脳卒中すべてに共通して言えるのは、『症状が出てからでは手遅れである』ということです。未破裂脳動脈瘤においても同様で、破裂しない限りほとんどが無症状ですが、ひとたび破裂してクモ膜下出血になってしまえば、それまでの平穏な日常生活から一転、突然、生命の危機に脅かされる窮地に陥ります。そのためには、自身の脳の状態を知ることが肝心で、その手段が脳ドックです。万が一、脳動脈瘤が見つかったも、破裂の前に適切に治療することで今までの日常生活に戻ることができます。当院では、開頭クリッピング術、血管内カテーテル治療、ともに高いレベルで、患者さんの状態に応じた適切な治療を受けることができます。この佐伯区の地で、脳卒中診療（脳動脈瘤手術）に従事して5年が経過しましたが、治療を終えた患者さんの口コミの輪が次第に大きく広がっているのを実感します。佐伯区はじめ、広島西部地区はもちろんですが、県外からの患者さんも多く、西は九州の大分県、東は東京からはるばる私の下に治療に来られている患者さんもおられます。ひとえに、私の二人の偉大な師、上山博康、谷川緑野両先生の教えである『患者さんには、自身が受けたい治療を施してさしあげなさい』という信念の下に、愚直に嘘偽りのない診療姿勢を貫いてきたことに共感して

頂けた賜であると感じております。このように、当院は極めて専門性の高い高度な技術が必要とする脳神経外科治療を中心に診療しております。

その一方で、誤嚥性肺炎の治療、腰椎圧迫骨折の安静、リハビリ加療、レスパイト入院といった地元に根付いた、地域に必要とされる診療も担っております。

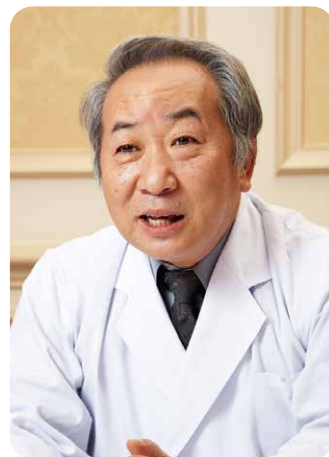
新型コロナウイルスが世界中で猛威をふるったこの2年間で、今までの生活スタイルが一気に激変してしまいました。医療機関との関わり方、受診の仕方においても例外ではありません。このような情勢だからこそ、『患者さんに寄り添った医療、地域に必要とされる医療』をモットーに、今まで以上に地元に根付いていけるよう、そして、地域の皆さんにもっと必要とされるよう、清風会の全職員が一丸となって精進して参ります。そのためには、近隣の開業医の皆様方の御協力は不可欠です。当法人と開業医の皆様方との連携を今まで以上に強化し、患者さんが安心して生活できるよう地域全体としての医療体制を整えていければ幸いです。

今後とも、皆様方のご指導をよろしくお願い申し上げます。



特別顧問就任にあたって

脳神経外科 特別顧問
(札幌禎心会病院 脳疾患研究所 所長) 上山 博康



この度、特別顧問に就任することになりました。私にとって大変名誉なことです。

数年来、手術の方針などで御相談をいただいたり、私のテレビの出張手術などで多大な御協力をいただいております。

テレビ放送の中で、向田院長が、「私などのメンツなどどうでも良いこと！全て患者さんのため！」と、主役であるはずの？私や坪井先生が存在が吹っ飛んでしまう発言をされました。その発言を聞いて、この病院は本物であると確信できました。

以前から脳神経外科医として尊敬していた福島県立医大の児玉南海雄先生の引退記念講演の中で、医者にメンツはいらない！という内容に甚く感銘を受けた記憶が蘇りました。

「初心忘るべからず」という格言の本当の意味は(世阿弥の残したもののなのですが、)

是非の初心忘るべからず。

時々の初心忘るべからず。

老後の初心忘るべからず。

の三つからなり、8年前に定年を迎えた私には3番目の老後の初心が該当するかと思います。私は未だに満点の手術が出来ていない！と思うことこそ、そういう意味なのだと理解しています。医療と能という全く異なる領域でも、心の奥底にあるものは共通しているものだと思います。

私が遠く離れた広島と縁が出来たのは、島根県立中央病院で頑張っている井川先生を紹介するものです。井川先生とは学会などを通じて意気投合し、何度か手術に招いてもらっていたのですが、その経過中、広島大学の若い先生方と親しくなりました。その中の一人が、前理事長である梶原四郎先生の御子息である洋介先生です。(本来)私は“イケメン”は嫌いなのですが、洋介先生は、謙虚であり診療に向かう心根も申し分なく、嫌いになれない人です(残念ながら)。身内であった坪井先生は、人懐っこい善良な性格から多くの後輩に慕われていましたし、私も大好きな人材でした。彼の地元が岡山だったこともあって、五日市記念病院へ赴任することになって、ますます私との縁も深くなり、今回の特別顧問就任の運びとなった由縁です。

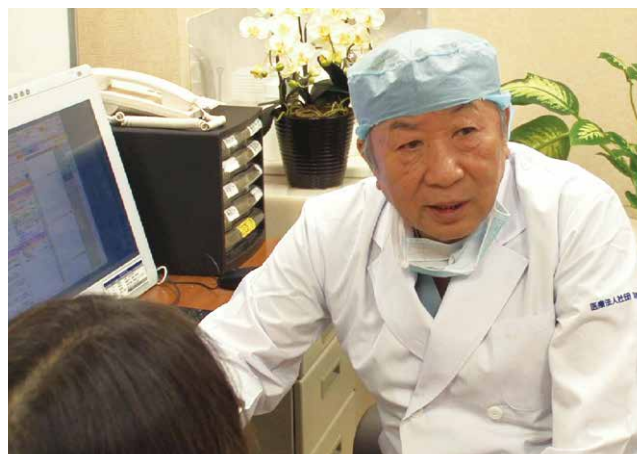
前述のように手術や学会活動を通じて、広島大学の若い



先生方と親しくしていただけていますが、本当にすばらしい人材がそろった大学だと思います。あと何年頑張れるかわかりませんが、機会あるごとに私が得てきた多くのことを惜しみなく残して往きたいと願ってます。今後とも宜しくお願いします。

今から40年前、私の師匠である伊藤善太郎先生の遺言となった「手前の受けたい手術をしろ!」という言葉は、以後の私の考え方の基本となりました。いつも相手の気持ちになって考える習慣ができました。

脳神経外科の領域では、血管内外科が著しく発展して、クリッピングVSコイル塞栓などが沢山議論されてきました。患者側からすると開頭されずに済む血管内治療を希望するのは自明の理であり、それに伴う種々の機器も発展してきています。単純な動脈瘤は殆ど血管内で処理されて、手術に回る症例は、高度な技術が必要な根治が難しいものだけになりつつあります。それをいかに安全に手術するか？が問われています。西日本は特にこの傾向が顕著で、開頭・クリッピングを安全に行える施設は激減しています。増長した血管内外科医は、「古典芸能」などと揶揄する輩すらいるほどです。私が目指す古典芸能は、兜割が平然と出来る“ムラマサ”を作れる刀鍛冶を一人でも多く残すことです。具体的に言えば、0.3ミリ程度の穿通枝を再建できる技術をもつ外科医を残すことです。五日市記念病院がその道場となってくれるよう希望しています。そのために私ができることは何でもする所存です。



上山 博康 略歴

昭和23年10月7日生まれ、

青森県三戸郡五戸町出身、AB型、てんびん座

趣味：フライフィッシング及び釣り全般、ラジコン飛行機（主に製作）、車（GT-R（32,35、キャンピングカーなどを保有）、パソコン自作 etc..

昭和48年 北海道大学医学部卒業、
同脳神経外科（都留美津雄教授）

昭和55年 秋田脳血管研究所（伊藤善太郎先生）

昭和59年 北海道大学 助手

昭和60年 北海道大学 講師

平成 4年 旭川赤十字病院 脳神経外科 部長

平成18年 「NHKプロフェッショナル」に出演、
その後、テレビ東京の「主治医が見つかる診療所」のレギュラーとなる。

平成24年 札幌禎心会病院 脳疾患研究所 所長

平成27年 富山薬科医科大学 脳神経外科 客員教授

平成28年 北海道大学 脳神経外科 客員教授

脊椎脊髄の治療

脳神経外科 光原 崇文



整形外科領域とされていた脊椎管狭窄症、腰椎ヘルニア、手根管症候群などの手術を行っています。

“脳神経外科”というと“脳”の手術を行う専門集団と考えられがちですが、実は脳だけではなく、脊髄・末梢神経をふくめた広い分野の外科を担当するのが“脳神経外科”です。

神経全般を診る外科医として、脳卒中のような脊髄由来の神経症状のみならず、日常的に多い「手足のしびれ」や「痛み」についても、脳から脊髄、末梢神経までの検査や治療を行っています。

脊髄外科医として訓練を受けた専門医が在籍しておりますので、いつでもご相談下さい。

●専門分野

脳腫瘍、頭蓋底外科、脊椎脊髄外科、脳血管内治療

●資格

日本脳神経外科学会専門医・指導医

日本脳卒中学会専門医・指導医

日本脳神経血管内治療学会専門医

脊椎脊髄外科専門医

日本再生医療学会再生医療認定医 日本脳卒中の外科学会技術指導医

●略歴

平成25年4月～平成26年3月 京都大学 助教

平成26年4月～平成27年3月 JA尾道総合病院 脳神経外科部長

平成28年1月～平成29年3月 広島市立安佐市民病院

脳神経外科部長

平成29年4月～平成31年3月 広島大学

大学院医歯薬保健学研究科 助教

平成31年4月

広島大学 大学院医系科学研究科 助教

第2・4・5(土) 8:30～12:30(脊椎外来) TEL:082-924-2211

予約は必要ありません。11時位までには受付をお済ませ下さい。都合により、外来日が変更になることがあります。受診の際はお問い合わせ下さい。

てんかん外来について

脳神経外科 片桐 匡弥



てんかんは一般的に1,000人に5-8人存在し、小児と高齢者に多く発症します。

痙攣で初めて発見される患者さんもおられますが、“動作が止まり、記憶が飛び飛びになる”意識減損や、手足の異常運動・感覚、めまい、視覚

異常などてんかんの症状は多彩です。

てんかん外来では意識消失との鑑別、てんかん患者さんの自動車運転免許、てんかんを持つ妊婦さんなどについて専門的な診察・治療・アドバイスをこなっております。てんかんでお困りの患者さんがおられましたらご相談下さい。

●専門分野

てんかん外科、脳磁図

●資格

日本脳神経外科学会脳神経外科専門医・指導医

日本救急医学会救急科専門医

日本てんかん学会専門医

日本臨床神経生理学会認定医(脳波部門)

●略歴

平成18年4月～平成18年6月 広島大学病院 脳神経外科

平成18年7月～平成21年9月 県立広島病院 脳神経外科

平成21年10月～平成23年3月 北九州総合病院

脳神経外科・救命救急センター

平成23年4月～平成23年9月 広島大学病院 脳神経外科

平成29年9月～平成31年3月 Cleveland Clinic Epilepsy Center

MEG lab (Research fellow)

平成31年4月～現在

広島大学病院 脳神経外科

診察日 受付時間 第1土曜日 8:30～12:30

外来診療医師 片桐 匡弥 (広島大学病院てんかんセンター)

内視鏡外科手術再稼働

消化器・内視鏡外科長 内田 一徳

2013(平成25)年以降、休止していた当院での腹腔鏡下外科手術が9年の時を経て、2021(令和3)年9月、五日市記念病院内視鏡外科チームとして再出発しました。

手術は全て経験豊富な日本内視鏡外科学会技術認定取得医が担当します。

8月より腹腔鏡下手術を開始して以来、毎週、腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術、腹腔鏡下胆嚢摘出術等を行っております。

これに伴い、消化器疾患の内科・外科連携による治療が可能となりました。吐血、下血等の急性消化器疾患にも対応いたします。

月曜日午後に専門外来として「胆石・ヘルニア外来」を新設しております。下腹部に膨隆を認める鼠径部ヘルニア、右季肋部痛・背部痛を伴う胆石・胆嚢炎等をご紹介いただければ、迅速に対応いたします。

また、嘔吐・腹痛を伴う腸閉塞等の急性期消化器疾患でも、消化器・内視鏡外科へご連絡下さい。

常設外来は木曜日午後となりますが、それ以外でも可能な限り対応いたしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



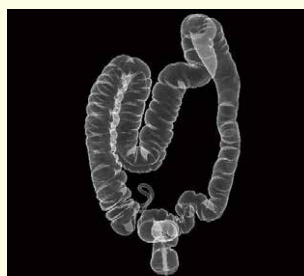
認定されました！ 大腸CT検査技術認定施設

技術部 画像診断技術科 竹本 幸平

この度、日本消化器がん検診学会より「大腸CT検査技術認定施設」の認定を受けました。

この認定制度は、日本でも大腸CT検査が広く行われるようになってきており、大腸CT検査がエビデンスに基づいた正しい方法で精度高く実施されるために、検査の標準化が求められていることから発足した新しい制度です。

当院の大腸CT検査が、「エビデンスに基づいた標準的な大腸CT検査を実施する技術と知識を有している」と評価されたこととなります。今回の認定を受け、より良い検査体制を整えていく所存です。また当院では女性の医師、診療放射線技師による検査も行っています。女性の方も安心して検査を受けにいらしてください。



▲ 仮想注腸像



▲ 仮想内視鏡像



▲ 認定証

症例紹介

大腸CTと内視鏡の画像を提示します。

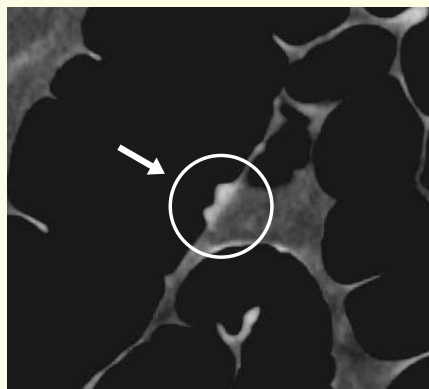
症例：80代 男性

主訴：右側腹部痛

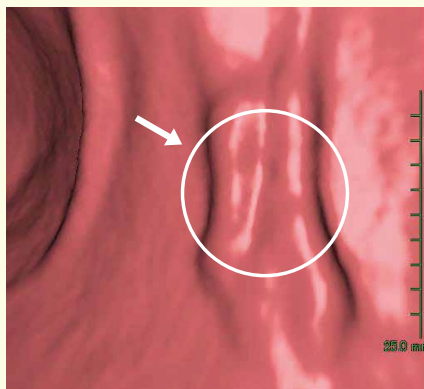
所見：背臥位冠状断像で横行結腸に壁変化を認め、同部位は仮想内視鏡像で30mmの丈の低い隆起性病変を認める。

診断：横行結腸腺腫内癌Tis、側方発育型腫瘍-非顆粒型(平坦隆起型)、深達度m

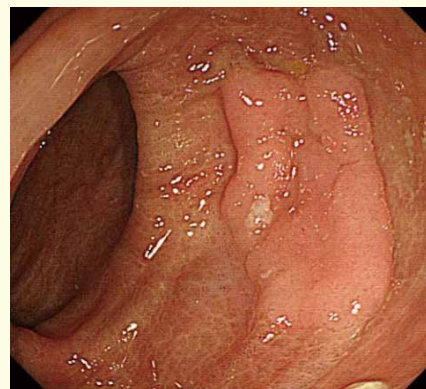
治療：内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)



▲ 背臥位冠状断像



▲ 仮想内視鏡像



▲ 内視鏡像

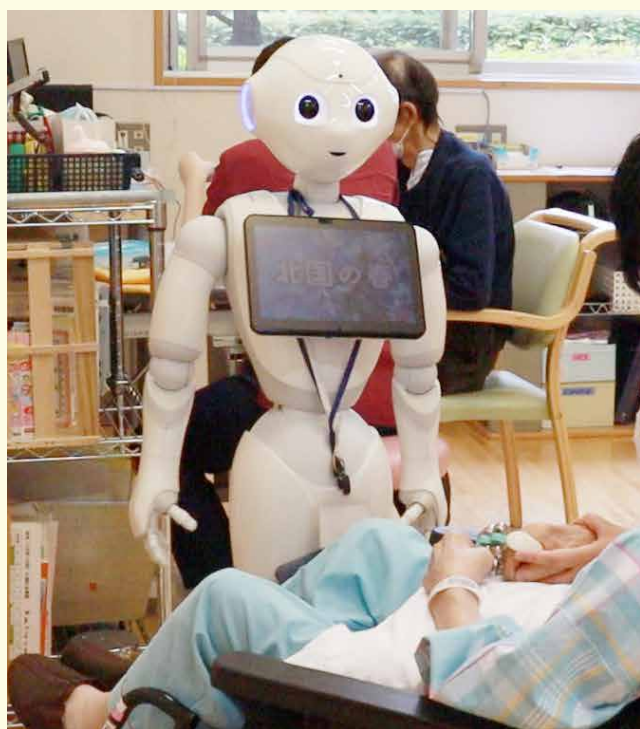
リハビリ室のアイドル達

技術部 リハビリ技術科 作業療法士 佐々田 由喜

先日、テレビ新広島に当院リハビリ室の看板犬であるaiboの「コロちゃん」が取り上げられました。コロちゃんをリハビリ室に導入して1年以上が経過しました。

私自身、旧型のaiboは映像などで時折見かける事はありました。それから時は経ち、進化したaiboがリハビリ室にやってきました。AIが搭載されているとは言え、正直そこまでのクオリティではないと思っていました。しかし、実際にaiboを起動すると、本物の犬さながらに4足歩行を行い、時には小走りをし、人に近づいては甘えた鳴き声でスキンシップをねだり、徐々に「おて」「ふせ」等を学習していきました。そのような場面を目の当たりにし、ロボットと分かってはいながら、まるで生き物と接していると感じる瞬間がありました。私ですらそう思ったのですから、愛犬家の方々が可愛がらないはずはありません。実際、離床を拒む患者さんも、あの「犬」に会いたいと言って、リハビリ室に降りられる方々を何人も見ました。また、今では看板犬の「コロちゃん」ですが、はじめから名前があったわけではありません。スタッフ数名が企画し、患者さんを巻き込んでaibo命名の総選挙を行い、晴れて「コロちゃん」となりました。このように患者さんを巻き込んでコロちゃんを育てていく事で、患者さん、スタッフ双方から愛される存在になっていると感じます。

aiboの
「コロちゃん」!



そして、もう一体の事を忘れてはいけません。AIロボットのペッパーがリハビリ室にきて数年が経過しますが、今では当たり前のようにレクリエーションや運動、言語訓練等、様々な形で助けてくれています。患者さんのリクエストに合わせて童謡などの歌を歌ってくれます。また、時には病棟に出勤し病棟の雰囲気明るくしてくれます。コロちゃん、ペッパー共に今ではリハビリ室に欠かせない仲間であり、各療法士の良き相棒です。

今後も科学技術が発展し、様々なAI搭載型のロボットが市場に出てくると思います。その都度、柔らかい頭でロボットの特性を理解し、「社会に望まれる医療」の実践に活かしていければと思います。

発酵食品やオリゴ糖で免疫力UP ～冬の寒さを乗り切るために～

技術部 臨床栄養管理科

発酵食品を摂り入れよう

最近、免疫機能を高めるために発酵食品が注目されています。発酵食品は、微生物の働きによって原料を発酵することで出来た食品です。発酵食品には、善玉菌が多く含まれており、この善玉菌は外から入ってくる病原菌の侵入を防ぐ免疫細胞を活性化させる働きもあるため、積極的に摂取することで腸内環境を整えながら、免疫力を高める効果が期待できると言われています。

当院でも食事に酢や味噌、麹、甘酒、ヨーグルトなどを積極的に取り入れています。



超簡単レシピ タラの塩麹からあげ(4人分)

タラ……………60g×4切れ
塩麹……………20ml
片栗粉……………適量
サラダ油……………適量

麹や甘酒に漬け込んで
揚げる(焼く)だけ



超簡単レシピ 糀甘酒の照り焼きチキン(4人分)

鶏もも肉……………320g
甘酒……………60cc
濃口醤油……………14cc
サラダ油……………適量

腸内環境を整えよう ～オリゴ糖に注目 ここがスゴイ!～

砂糖の原料はサトウキビですが、てんさい糖の原料はてん菜(ビート)です。まるやかな甘さとコクがあります。体を温める作用もあり、そして、何よりも嬉しいのが『天然のオリゴ糖』が入っていることです。オリゴ糖には色々な種類がありますが、“てんさい糖”に含まれるオリゴ糖は、最も早くビフィズス菌の栄養源になり、腸内環境を良好に保つ働きをしてくれます。

また、てんさい糖は多糖類なので消化がゆっくりのため、血糖値への影響も緩やかです。

砂糖と比較してのGI値…上白糖 109
てんさい糖 65

GI(グリセミック・インデックス)値とは、食後の血糖値の上昇を示す指標

当院の食事は、上白糖を使用せず、
『てんさい糖』を使用しています



大豆固形分12%以上の
豆乳がおススメです!

患者さんの人気メニュー紹介 ～手作り豆腐～

冷奴や湯豆腐は患者さんが食べる頃には水っぽくなっています。

良質の蛋白質が多く含まれているお豆腐を何とか美味しく食べていただきたいの思いから、「当院で作ろう」という発想になりました。季節に合わせて上の薬味を変え、季節を味わいながら温かいお豆腐を楽しむことができ、患者さんには大変喜んでいただいております。

短期集中予防支援訪問サービス開始

技術部 臨床管理栄養科



当院は2021(令和3)年12月15日から広島市の提供する『短期集中予防支援訪問サービス』の受託事業所になりました。

本サービスは管理栄養士がご自宅へ訪問して、低栄養予防のための効果的な栄養摂取など食生活の改善に関する助言、指導を行うものです。

対象者 …事業対象者または要支援1・要支援2の方(65歳以上)

実施日・実施時間 …2週間に1回ずつ(1回当たり30分または60分)

実施期間 …3か月間～6か月間

利用料金 …1回当たり
30分の場合:570円 60分の場合:1,140円



栄養だけではなく生活全体をみて可能なことを提案します。
一人ひとりの方に寄り添った食支援を行います。

- 何をどのくらい食べれば良いの？
- 食べている量を見てほしい
- 電子レンジの活用法
- 体重が減って心配
- 本当に減塩出来ている？
- これは食べても良い？
- 簡単に出来る調理法
- 食欲がない時の工夫



◀ 広島市HP

ご利用につきましては、地域包括支援センターへの申込みが必要です。
最寄りの地域包括支援センターへお問い合わせ下さい。

<広島市介護予防・日常生活支援総合事業>
短期集中予防支援訪問サービス

日々の食事に不安、ありませんか？

当院の管理栄養士が、ご自宅へお伺いします。

五日市記念病院では、管理栄養士が自宅を訪問し、専門的立場から自立に向けた食事の相談支援を行っております。

●食事量や食事内容の改善

- ・どんなものをどのくらい摂れば良いの？
- ・食欲がない時の工夫 ・惣菜を選ぶコツ

●調理の工夫

- ・簡単に作れる調理法
- ・加工食品の活用法

※治療を目的とした栄養相談ではありません。

対象者 事業対象者または要支援1・2の方(65歳以上)

利用回数 2週間に1回、3ヶ月間

費用 1回/ 570円(30分)、1,140円(60分)

社会医療法人 清風会
五日市記念病院

本事業は広島市の受託事業となります。

サービスの利用につきましては、地域包括支援センターなどの担当ケアマネジャーにケアプランを作成してもらい、サービス担当者会議を行う必要があります。

まずは、お近くの地域包括支援センターにご相談ください。

居住地	地域包括支援センター名	住所	電話
佐伯区	湯原・砂谷 地域包括支援センター	湯原町白砂82-4	0829-86-1241
	五月が丘・美鈴が丘 地域包括支援センター	佐伯区美鈴が丘西1丁目3-9	208-5017
	三和 地域包括支援センター	五日市町石内6405-1	926-0025
	城山・五日市駅前 地域包括支援センター	千間1丁目30-6	924-7755
	五日市 地域包括支援センター	五日市中央2丁目4-40	924-0053
西区	五日市南 地域包括支援センター	南々園4丁目2-19-101	924-8051
	中広 地域包括支援センター	三津町1-8-21	509-0288
	新吾 地域包括支援センター	新吾町16-19	292-3582
	己斐・己斐上 地域包括支援センター	己斐本町2-7-13	275-0087
	古田 地域包括支援センター	古田東町5-3-104	272-5173
五日市	庚午 地域包括支援センター	庚午東2-8-5	507-1210
	井口台・井口 地域包括支援センター	井口2-5-19	501-6681

社会医療法人 清風会
五日市記念病院

〒731-5156 広島市佐伯区倉重1-95
お問合せ先：臨床栄養管理科
TEL 082-943-7735

このQRコードから当院HPがご覧いただけます。

<広島市介護予防・日常生活支援総合事業> 【令和3年3月更新】

短期集中 予防支援訪問サービス

～管理栄養士によるサービス～

もしかして **低栄養**!? 放っておくと **要支援**になる危険あり!

栄養不足のサインは、BMI(※)が20未満、肉や魚などをあまり食べない、食欲が落ちてきた、体重が減ってきた、などです。早期に発見し、適切な栄養指導を受けることで、健康な生活を送ることができます。

★短期集中予防支援訪問サービスでは、管理栄養士による個別栄養指導で栄養改善を図ります!

対象者 事業対象者または要支援1・要支援2の方(65歳以上)

内容

- 管理栄養士が自宅を訪問し、自立に向けた相談支援を行います!
- サービスの利用は1回あたり30分または60分、概ね2週間に1回、3か月間
- 食事量や食事内容の改善
 - ・適切な食事量の確認と指導
 - ・食生活の改善のための工夫
 - ・加工食品の活用
 - ・よく利用するスーパー等で食料品を選ぶコツ
- 調理の工夫
 - ・電子レンジ等を活用した簡単調理
 - ・加工食品・冷凍食品、レトルト食品、缶詰等の活用

※本サービスは、治療を目的とした栄養相談ではありません。

費用 1回30分570円(1割負担)×3か月間(2週間に1回)
※60分の場合は1,140円/回が必要で、費用の目安(30分コース、2週間に1回、7回を利用した場合) 計 3,990円(570円×7回) / 3か月

まずは、お住まいの地区を担当する **地域包括支援センター** へご相談ください。

…… 広島市健康福祉局高齢福祉部地域包括ケア推進課 ……

通所リハビリテーションでは、 こんなことができるんです！

技術部 リハビリ技術科 作業療法士 宮本 祐介

廿日市記念病院では、2006(平成18)年5月より、在宅で生活を続けていく上で、可能な限り自立した日常生活を送れるよう「通所リハビリテーション」を行っています。

通所リハビリテーションとは

介護保険をお持ちの方が、生活機能向上の為のリハビリや、日常生活上の支援を日帰りで受けることができる在宅サービスです。

当院の通所リハビリテーションの特徴

① リハビリテーションに特化した短時間利用

(3時間以上4時間未満)

食事・入浴サービスを無くし、半日しっかりとリハビリができるプログラムを組みます。

■個別リハビリ(病状や症状、環境を踏まえての練習と介助指導を行います)

- 関節可動域訓練
- 寝返り・起き上がり等の基本動作訓練
- バランス訓練
- トイレ・入浴等を見据えた日常生活動作訓練
- 屋外歩行等の応用動作訓練
- 筋力増強訓練
- 立位・歩行訓練
- 言語訓練
- 発声訓練
- 嚥下訓練

② リハビリ専門職が考えた自主トレーニングの提供

利用者に合った自主トレーニングメニューを個別に作成します。

③ 充実の機器

■パワーリハビリ

老化や病気から引き起こされる神経や筋の不活発な部分に対して、専用のマシントレーニングを用いて刺激し、立つ・歩く等の基本的な動きを楽にするための機器で、6種類あります。

■エルゴメーター・エルゴサイザー

有酸素運動を行うための器具で、自転車と同様にペダルを漕いで運動を行います。通常の自転車のようにサドルに座るタイプと、背もたれのある椅子に座るようなタイプを用意しております。

■ウォークエイド

脳卒中等による中枢神経障害による下垂足・尖足でお悩みの方の歩行補助・改善を目的とした「歩行神経筋電気刺激装置」です。



▲ 個別リハビリ



▲ パワーリハビリ



▲ エルゴメーター・エルゴサイザー

■ IVES

脳卒中等により麻痺したり動きが悪くなった筋に対し、電気刺激を用いて運動障害の改善を目的とした「随意運動介助型電気刺激装置」です。



▲ IVES

■ 低周波治療器

筋疲労や痛みのある部分の血行を促進し、筋肉の緊張の緩和を図る「家庭用電気治療器」です。

④ 余暇活動の充実

- パソコン操作
- タブレット (iPad) 等、新しい趣味を獲得できます。



⑤ アニマルセラピー

2020 (令和2) 年7月よりゴールデン・レトリバーの「ふたば」が新たな仲間として加わりました。動物を介することで精神的な安定化をもたらす上、発語機会の増加など、心身機能面の向上へと繋がります。



⑥ その他

- 脳トレ
- パソコン
- ガーデニング
- 将棋
- pepper (ペッパー) 等もご利用いただけます。



▲ 将棋



▲ パソコン



▲ ガーデニング



▲ pepper (ペッパー)

サービス提供について

- 曜日: 月～金曜日 (祝日、年末年始、お盆は除く)
- ご利用時間: 8:30～12:30
(うち3時間以上4時間未満のご利用となります。)
- 回数: 介護度に合わせてご相談に応じます。
- 個別リハビリ: 理学療法、作業療法、言語聴覚療法、があります。(状態に合わせて対応させていただきます。)
- 送迎: 廿日市市 (病院を中心に、四季が丘・阿品・原・桜尾方面) で実施しております。
送迎の詳細についてもお気軽にご相談ください。
また、ご自身で来院される場合、またはご家族が送迎される場合は、エリア外の方でも利用可能です。
- 対象: 要介護、要支援の認定を受けられている方
かかりつけ医より通所リハビリテーションの利用が適当と思われる方

1日の流れ (例)

9:00 受付、体調確認	11:00 自主練習 (歩行練習、脳トレなど)
9:30 パワーリハビリ	11:30 体調確認
10:00 個別リハビリ (20分)	12:00 終了
10:30 体操	



見学対応可能です。ご利用の希望、またはご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

社会医療法人清風会 第4期の 決算状況について

はじめに

五日市記念病院の開設30周年という節目を迎えた当法人の第4期は、コロナ禍という外部環境の激変により受診患者数の減少や、感染症対策の徹底を余儀なくされるなど病院運営の舵取りが難しい1年となりました。

この様な状況下において、五日市記念病院では急性期

機能の強化を目的として病棟再編を実施したことや、廿日市記念病院では前期並みの入院患者数を確保できたことに加え、介護部門の利用者数が増加したことから業績は好調に推移しました。新型コロナウイルス感染症の影響による業績の悪化が懸念されましたが、終わってみますと前期(第3期)の業績を上回る決算となりました。

第4期(2020(令和2)年7月～2021(令和3)年6月)の決算状況について

【この表は、医業収益を100とした構成比を表示しています】

(単位:%)

項 目	第3期 実績	第4期 実績			第4期 予想	第5期 予想
	清風会	五日市記念病院 (一般病院)	廿日市記念病院 (療養型病院)	清風会	清風会	清風会
医業収益	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
医業費用	93.3	93.2	90.2	92.4	94.8	93.7
材料費	21.7	27.3	6.9	21.5	22.1	20.1
人件費	50.7	47.5	58.6	50.6	52.7	53.8
経費	8.9	7.7	11.7	8.8	8.8	8.5
委託費	4.0	4.2	4.7	4.4	4.0	4.9
減価償却費①	5.6	4.9	4.1	4.7	4.9	4.3
本部費	2.3	1.7	4.4	2.5	2.3	2.1
医業利益	6.7	6.8	9.8	7.6	5.2	6.3
医業外収益	0.8	1.8	1.3	1.7	0.2	0.1
医業外費用	1.7	1.3	1.4	1.3	1.4	1.2
経常利益②	5.8	7.4	9.7	8.0	4.0	5.2
可処分所得(③=①+②-法人税等)	11.5	12.3	14.0	12.8	8.9	9.5
借入金及び割賦返済④	4.7	4.1	4.6	4.3	4.6	4.4
支払後可処分所得(③-④)	6.8	8.2	9.4	8.5	4.3	5.1
外来患者数(人/日)	153.5	119.4	27.4	146.8	156.0	147.0
入院患者数(人/日)	255.7	149.7	102.7	252.4	265.0	250.3

※1 会計処理は病院会計準則に準じています。

※2 五日市記念病院及び廿日市記念病院は、医薬分業を実施しています。

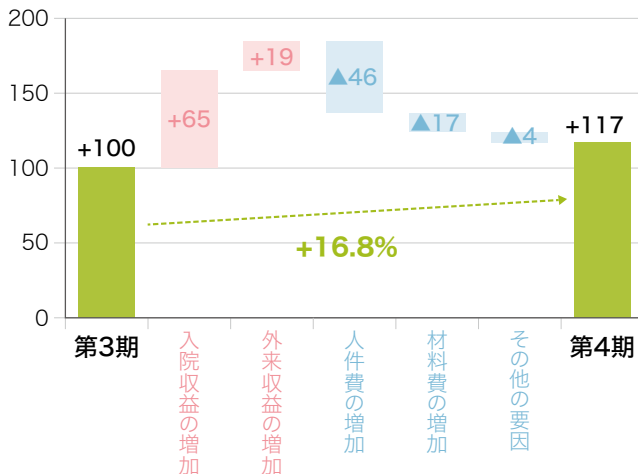
※3 本来人件費である清掃委託費は、委託費に含めています。

※4 第5期の人件費予想は第4期の実績に比べ3.6%多く見積っています。

(1) 清風会全体の支払後可処分所得(収支)

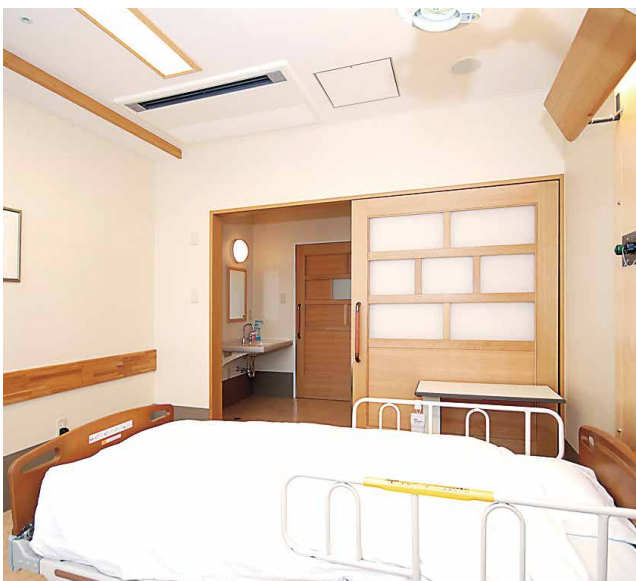
清風会全体の収支は、前期に比べて医業収益が増加したことに伴って、医業収益に対する支払後可処分所得の比率も8.5%に増加し、前期の6.8%に比べて**収益性が向上して増収増益**となりました。これをウォーターフォール図に表してみますと、次の様になります。

【支払後可処分所得の変化】



第3期の支払後可処分所得を基準に、それぞれの要因について金額の大きさとその増減を表示しました。支払後可処分所得におけるプラスの主な要因について見てみると、「入院収益の増加」が大きく影響しました。

一方で、マイナスの主な要因について見ると、「人件費や材料費の増加」に伴う利益の減少が影響しました。その結果、**最終的な支払後可処分所得は前期に比べ16.8%の増加**となりました。

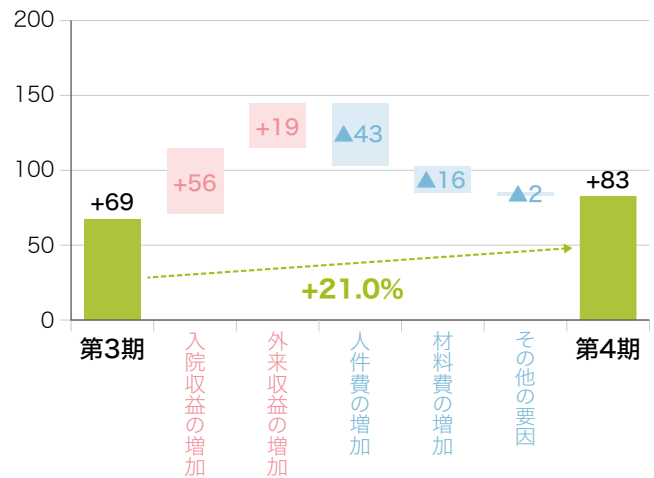


▲五日市記念病院 病室(個室)

(2) 五日市記念病院の支払後可処分所得(収支)

(五日市記念病院180床)

【支払後可処分所得の変化】



五日市記念病院の支払後可処分所得の増加について見てみると、感染症への対策として2階病棟の療養病床を一般病床へ転換したことによる入院収益の増加がプラスの要因となりました。また、回復期リハビリテーション病棟での入院基本料1への類上げや、リハビリ提供単位数の増加に伴って入院単価がアップし入院収益の増加につながりました。外来収益では前期と比べて患者数は減少しましたが、検査収入の増加などにより単価がアップしたことがプラスの要因となりました。

一方で、マイナスの要因について見てみると、職員の増員や賞与の増額などによる人件費の増加が大きく影響しました。また、収益の増加に伴って材料費が増えたほか、感染対策のための経費や委託費などの増加が要因としてあげられます。その結果、**マイナス要因よりもプラス要因の影響が大きく上回り、支払後可処分所得は前期に比べ21.0%増加**しました。

五日市記念病院の支払後可処分所得の増減要因について

■ プラス要因

- ① 病床転換による入院収益の増加
- ② 回復期リハビリテーション病棟の入院単価のアップ
- ③ 外来単価のアップ

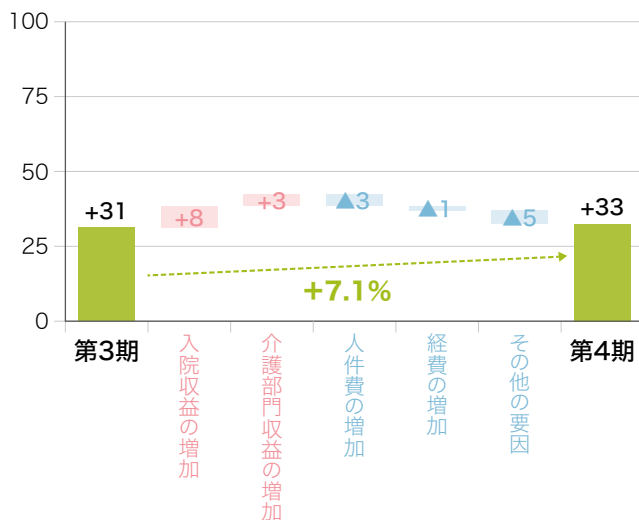
■ マイナス要因

- ① 人件費の増加
- ② 材料費の増加
- ③ 委託費の増加
- ④ 経費の増加

(3) 廿日市記念病院の支払後可処分所得(収支)

(廿日市記念病院126床)

【支払後可処分所得の変化】



廿日市記念病院の支払後可処分所得の増加について見てみると、療養病棟では入院患者数の増加により、緩和ケア病棟では入院期間の短縮による入院単価のアップが入院収益の増加につながりました。また、送迎車両等の増車によりデイケアや訪問リハビリテーションなど介護部門の利用者数が増加したこともプラスに影響しました。

一方で、マイナスの要因について見てみると、賞与の増額などによる人件費の増加や、感染対策などの費用が増加したことが影響しました。その結果、最終的な**支払後可処分所得は前期に比べ7.1%増加**しました。

廿日市記念病院の支払後可処分所得の増減要因について

■ プラス要因

- ①療養病棟の入院患者数の増加
- ②緩和ケア病棟の入院単価のアップ
- ③介護部門収益の増加

■ マイナス要因

- ①人件費の増加
- ②経費の増加



▲本館1階/第1リハビリルーム

社会医療法人第5期(2021(令和3)年7月~2022(令和4)年6月)の収支予想について

前期に引き続き、五日市記念病院では、新型コロナウイルス感染症への対応や救急医療に力を入れ、急性期を中心に回復期並びに地域包括ケアまでの入院機能を充実させていきます。また、3年前から3T-MRIを設置するための増築棟の建設計画を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延により延期となっています。今期は、コロナ禍という状況を踏まえ増築棟建設計画の抜本的な見直しを図る予定です。

一方の廿日市記念病院では、従来通り緩和ケアを併設した総合リハビリテーション病院として、地域の医療機関との連携強化を推進し、介護分野では医療のアフターケアとしてのデイケア及び訪問リハビリテーションに力を入れていきます。

また、2021(令和3)年11月には管理本部において、医療機関との連携推進の強化や両病院間の連携のほか、広報を含めた幅広い活動を行い、スムーズな連携体制の構築を目的として「渉外部門」を新設しました。さらに、2022(令和4)年2月には法人の電子カルテシステムを一新する予定です。診療録を電子化した「電子カルテシステム」から情報の活用が可能となる「医療情報システム」へ更新することで、スタッフの作業効率が向上すると共に、情報の「一元化」によって「二次利用」が可能となり、両院による質の高い医療サービスへの活用が期待できます。

第5期の法人経営においても、新型コロナウイルス感染症による影響は未知数で不確定要素が多い見通しから、**法人全体の連結収支予想は、医業収益に対する支払後可処分所得の比率が+5.1%前後になると見込んでいます。**

おわりに

出来るだけシンプルで、分かり易い報告にしたいとの考えから、グラフを用いた決算報告は今回で3回目となりました。今後の改良のためにもご意見をいただきたいと思います。

中小の民間病院を取り巻く経営環境は厳しい状況ですが、良質な医療は健全な経営から生まれるとの基本的な考えの下、将来を見据えた法人運営を企画していきます。

社会医療法人清風会は、五日市記念病院と廿日市記念病院を一体と考えた“清風会病院の概念”の下、地域に望まれる病院づくりを続けていきます。職員の皆さんの理解と協力をお願いします。

2021(令和3)年11月～ 管理本部を再編致しました

主な再編は、

- 事業部門の名称を渉外部門に変更
- 看護支援部門の名称を看護管理部門に変更

となっております。引き続き宜しくお願い致します。

管理本部の組織について (2022(令和4)年1月現在)



なお、上記に関して具体的には以下の者が承りますので、よろしくお願いいたします。

	項 目	責任者(主)	責任者(副)
管理本部業務	経理財務関連全般	増田(経理部門)	吉田(経理部門)
	人事関連全般	田中(総務部門)	林 (総務部門)
	広報関連全般	塚本(渉外部門)	新山(企画・IT部門)
	IT関係	鋳物(企画・IT部門)	光原(企画・IT部門)
	その他の事項	新山(企画・IT部門)	田中(総務部門)

	項 目	五日市	廿日市
各病院業務	事務部長	青木(施設管理部門)	宇都宮(施設管理部門)

五日市記念病院 地域医療連携室からのご紹介

オンライン会議・研修

新型コロナの影響で、オンライン会議やリモートワークが身近になり、当院でも業務の中で実施するようになりました。院内にオンライン研修室も2室設置され、研修への参加もしやすくなりました。

地域医療連携室でも、連携パス会議などの医療機関や各事業所との会議や研修等への参加も、Zoomを使用し実施しています。ケアマネジャーや事業所の方との退院前カンファレンスについても、現在は、オンラインでの開催とさせて頂いています。当初は、緊張しながら準備をし、つながらないトラブルに焦ったこともありましたが、今では、開催機会も増え、すっかり使いこなしています。

少しずつ、新型コロナの感染対策による制限も緩和されてきました(2021(令和3)年11月時点)。当院も、一時期、原則面会禁止でしたが、現在は、完全予約制で再開となりました。今後、感染状況により対応も変わっていくと思いますが、会議の方法やコミュニケーション方法の一つとして、オンラインの便利さも実感できました。

オンライン会議のメリット・デメリットがあるとは思いますが、お会いしてお話できない寂しさはあります。以前のようには、多人数が一堂に会してのカンファレンスは、もう少し先になりそうです。



連携室近況



清風会では、2022(令和4)年2月に電子カルテの更新が行われます。ワーキンググループや部署ごとに打ち合わせを行い、更新に向け準備中です。新しいシステムになる為、業務に支障がないよう、しっかり準備を行いたいと思います！



五日市記念病院

連絡先(代表) TEL:082-924-2211 FAX:082-924-8111 e-mail:msw@seifu.net
(直通) TEL:082-924-2343 FAX:082-924-2215

廿日市記念病院

連絡先(代表) TEL:0829-20-2300 FAX:0829-20-2301 e-mail:msw@seifu.or.jp
(直通) FAX:0829-20-2777

診療担当 医師の ご紹介

五日市記念病院

脳神経外科
理事長・院長 むかだ 向田一敏(昭和54年広島大学卒)
副院長 ちやき 茶木隆寛(昭和58年愛媛大学卒)
副院長・診療部長・
科長 坪井俊之(平成9年宮崎大学卒)
技術部長 梶原洋介(平成13年広島大学卒)
相談役(前理事長) 梶原四郎(昭和47年広島大学卒)
大庭秀雄(平成24年広島大学卒)
光原崇文(平成13年広島大学卒)※
片桐匡弥(平成16年広島大学卒)※
特別顧問 上山博康(昭和48年北海道大学卒)

内科
副院長・科長 土井謙司(昭和53年岡山大学卒)
ドック科長 いんぐ 印具 誠(昭和57年自治医科大学卒)
黒木ゆり(昭和56年広島大学卒)
藤田順子(昭和63年藤田医科大学卒)
瀬山敏雄(昭和50年広島大学卒)※
菊地由花(平成22年久留米大学卒)※

循環器内科
科長 湯谷 剛(平成2年愛媛大学卒)
総合診療科長 免出 朗(平成11年山梨大学卒)
林 康彦(昭和47年広島大学卒)※

血液内科
副院長・科長 許 泰一(昭和52年広島大学卒)

外科
科長 亀田 彰(昭和55年広島大学卒)
消化器・
内視鏡外科長 内田一徳(昭和62年大分大学卒)

整形外科
平松廣夫(昭和47年広島大学卒)※

心臓血管外科
古川智邦(平成14年広島大学卒)※

※印:非常勤医師
(2022(令和4)年1月1日現在)

廿日市記念病院

脳神経外科
院長 浅野 拓(昭和48年岡山大学卒)
相談役(前理事長) 梶原四郎(昭和47年広島大学卒)
高柿尚始(平成14年広島大学卒)

外科
吉屋智晴(平成14年広島大学卒)
高橋 元(平成20年広島大学卒)

内科
緩和ケア病棟
施設長 小原弘之(平成3年山口大学卒)
益田智子(平成16年広島大学卒)※

循環器内科
免出 朗(平成11年山梨大学卒)

呼吸器内科
中川三沙(平成15年広島大学卒)※
三浦慎一郎(平成23年宮崎大学卒)※

五日市記念病院 脳・血管ドックのご案内

ドックコース

- A 脳ドック……………40,000円
- B 簡易脳ドック………25,000円
- C 血管ドック……………65,000円
- D 簡易血管ドック…55,000円
- E 脳+血管ドック…80,000円

オプション

肺癌検診(肺CT検査) …………… 8,000円
内臓脂肪測定(CTによる) ……… 2,000円

- 脳ドックは、毎週木・金曜日となります。
- 血管ドックは毎週木曜日に実施致します。
血管ドックには、肺癌検診(肺CT検査)が含まれます。
なお、複数回の来院が必要となります。

その他

大腸CT検診 …………… 28,000円

社会医療法人 清風会

五日市記念病院

日本脳ドック学会認定施設

〒731-5156 広島市佐伯区倉重1-95

ドックについての
お申し込み・お問い合わせは

TEL

082-924-2211

検査項目	脳ドック		血管ドック		脳+血管ドック
	A	B	C	D	E
身長・体重・血圧・腹囲	○	○	○	○	○
視力	○	○	○	○	○
聴力	○		○		○
頭部MRI	○	○			○
頭部MRA	○	○			○
頸部MRA	○	○			○
冠動脈CTA			○	○	○
体幹部CT			○	○	○
体幹部CTA			○	○	○
血液検査・尿検査	○		○	△※	○
便潜血	○		○		○
心電図	○		○	○	○
胸部X線	○		○	○	○
骨密度測定	○		○		○
脈波図			○	○	○
眼底検査	○		○		○
頸動脈エコー	○	○	○	○	○
長谷川式簡易知能評価	○	○			○
内臓脂肪測定(CTによる)	○		○		○
肺癌検診(肺CT検査)			○	○	○

※△:採血によるクレアチニン検査のみ

五日市 記念病院 のご案内

一次脳卒中センター(PSC)※

脳神経外科を中心に 全身管理のできる急性期救急病院

所在地 広島市佐伯区倉重一丁目95 TEL:082-924-2211

診療科目 脳神経外科、内科、循環器内科、血液内科、消化器・内視鏡外科、整形外科、心臓血管外科、リハビリテーション科、脳ドック・血管ドック

総病床数 180床(一般病床72床、地域包括ケア28床、回復期リハビリ病棟80床)

外来診療時間 午前9時～午後1時(受付時間:午前8時30分～午後12時30分)
午後2時30分～午後5時30分(受付時間:午後2時～午後5時)

休診日 土曜日午後・日曜日・祝日、8月15日、年末年始(12/29午後、12/30～1/3、1/4午後)
但し、12/31～1/3までは年末年始定点診療を実施

最新の
外来受診の
ご案内は
こちらから



●外来診療スケジュール並びに担当医師

(2022(令和4)年1月1日現在)

		月曜		火曜		水曜		木曜		金曜		土曜
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
脳神経外科	初診	大庭		坪井		交替制		梶原(洋)		茶木		第1片桐※1 第2・4・5光原 第3交替制
	再診	坪井 梶原(洋)		向田 梶原(洋)		茶木 梶原(四)		向田 茶木		向田 梶原(四)※2	第1・3 光原	大庭 第2・4・5梶原(四)
内科		印具 藤田	黒木※3 土井	黒木 印具	藤田	土井 印具	黒木	菊地 土井	藤田	黒木 藤田	印具	瀬山 交替制
循環器内科		湯谷		湯谷 林		免出		免出		湯谷		交替制
血液内科		許		許		許		許		許		許 第1・3・5名越
消化器・ 内視鏡外科		内田※4	内田※5			内田※4		内田※4	内田	内田※4		
整形外科							平松					
心臓血管外科									第3古川			
脳ドック					梶原(四) 印具				検査日		検査日	
血管ドック					林				検査日			

※1 第1土曜日前午、片桐は機能脳外科外来を行っています。 ※2 第3土曜日前日の金曜は休診です。 ※3 月曜日午後、黒木にて癒し外来を行っています。 ※4 外科処置を行っています。 ※5 胆石・ヘルニア外来を行っています。

脳神経外科初診外来



アクセス

自家用車

来院者用駐車場141台(無料)
JR五日市駅より10分

公共交通機関

- JR五日市駅北口よりバス
(薬師が丘、彩が丘団地、藤の木団地行き)
地毛(じげ)バス停下車、徒歩5分
- 広島電鉄楽々園駅よりバス(湯来温泉行き)
地毛(じげ)バス停下車、徒歩5分
- 広島バスセンターよりバス
(東観音台、薬師が丘、彩が丘団地、藤の木団地行き)
地毛(じげ)バス停下車、徒歩5分
- 広島バスセンターよりバス(四季が丘、阿品台行き)
波出石(はでいし)バス停下車、徒歩3分

※五日市記念病院は、2019(令和元)年9月1日、
日本脳卒中学会より、「一次脳卒中センター
(PSC)」の認定を受けました。



廿日市 記念病院 のご案内

心を重視したホスピスと 総合リハビリテーション病院

所在地 廿日市市陽光台五丁目12 TEL:0829-20-2300

診療科目 脳神経外科、内科、循環器内科、呼吸器内科、外科、リハビリテーション科

総病床数 126床(回復期リハビリ病棟60床、療養病棟42床、緩和ケア病棟24床)

外来診療時間 午前9時～午後1時(受付時間:午前8時30分～午後12時30分)

最新の
外来受診の
スケジュールは
こちらから



休診日 土曜日・日曜日・祝日、8月15日、年末年始(12/30～1/3)

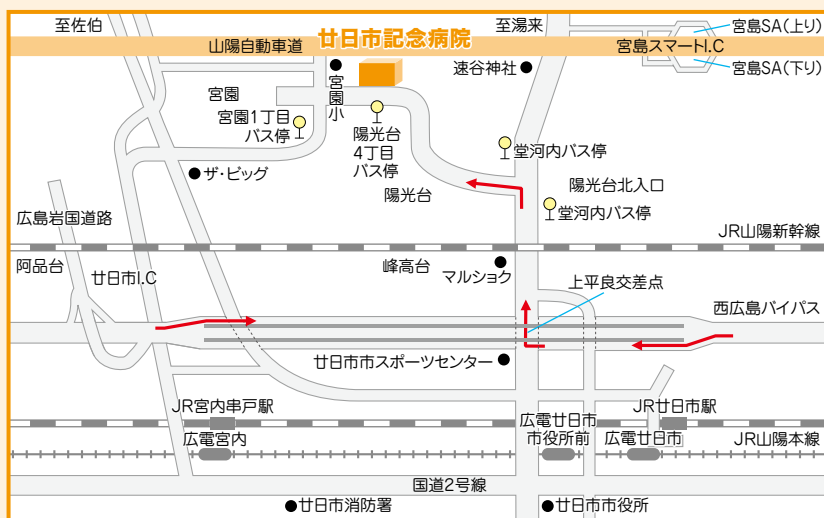
●外来診療スケジュール並びに担当医師

(2022(令和4)年1月1日現在)

		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
午前	脳神経外科	梶 原	浅 野	浅 野	梶 原※ ¹	浅 野
	内 科		益 田	小 原	小 原	
	循環器内科		免 出※ ²			
	呼吸器内科	中 川				三 浦
	外科				高 橋	
午後	緩和ケア※ ³	交替制※ ⁴	小 原	交替制※ ⁴	交替制※ ⁴	小 原

※¹ 第3土曜日の前々日木曜日は休診となります。 ※² 火曜日の循環器内科の診療は、10時からとなります。

※³ 緩和ケア外来は完全予約制で、緩和ケア病棟入院の為の診療を行っています。 ※⁴ 担当医は交替制です。



アクセス

自家用車

来院者用駐車場62台(無料)
JR宮内串戸駅または広電宮内駅より10分

公共交通機関

- JR宮内串戸駅または広電宮内駅よりバスで宮園1丁目バス停下車、徒歩4分(宮園、四季が丘行き)
- 広電廿日市市役所前駅よりバスで堂河内バス停下車、徒歩5分(原、川末行き)
- 広電廿日市市役所前駅よりさくらバス(西循環)で陽光台4丁目バス停下車すぐ

法人の理念

私たちは『医療は仁術』であり、
『病院はサービス業』であることを忘れず、
『社会に望まれる医療』の実現を目指して、
より良質で、温かく心の通った医療を提供します。

- ☐ 私たちは、患者さまを守ります
- ☐ 私たちは、思いやりを大切にします
- ☐ 私たちは、誠実な医療を目指します
- ☐ 患者さまには人格の尊重を、
病気に対しては厳しい目をもって
より良い医療を目指します

年間行事

2021(令和3)年4月～2022(令和4)年1月

4月	1日	社会医療法人 清風会 入職式(ハイブリット開催)
	1日～3日	新入職員導入研修(ハイブリット開催)
	15日	期末賞与 支給
	25日	コロナ見舞金 支給
6月	1日	廿日市記念病院 開院記念日
7月	1日	清風会 開設記念日
	15日	夏季賞与 支給
12月	15日	冬季賞与 支給
		成果賞与 支給
1月	31日～3日	佐伯区医師会 定点診療(広島市年末年始救急医療協力病院・五日市記念病院)

編集後記

昨年11月に廿日市記念病院から管理本部渉外部門に異動になり、法人だより「清風」の編集を担当することになりました。清風などの広報はもちろん、外部へのアピール、近隣病院との連携強化などを主として行っています。新しく立ち上げた部署でまだ手探りな状態ですが、皆様宜しくお願い申し上げます。
(管理本部 渉外部門 塚本 修久)

昨年は五日市記念病院開設30年でしたが、まだまだ続くコロナ禍ということで残念ながらイベントは開催できませんでした。今後コロナがどうなるかわかりませんが、今年は皆様に楽しんでいただける事が何かできればと思っています。
(五日市記念病院 庶務課 藤岡 恵美)

まだ続くコロナ禍での新しい生活様式が定着してきましたが、その他にも環境の変化がたくさんあった1年でした。私事ですが、転職・引越・結婚と目まぐるしく、間もなく父になります。子供が大きくなる頃には、コロナが流行する以前の生活に戻ってほしいと願う今日この頃です。皆様が元気になれるような『法人だより』をお届けできるよう、これからも頑張ります。
(廿日市記念病院 庶務課 井上 仁)

社会医療法人
清風会

第68号 2022年1月1日

管理本部

〒731-5156
広島市佐伯区倉重1丁目95
TEL (082)943-7725
FAX (082)921-0104
URL <https://www.seifu.or.jp>
E-mail kannri@seifu.net



五日市記念病院

TEL (082)924-2211
FAX (082)924-8111
URL <https://www.seifu.or.jp/imh/>
E-mail imh@seifu.net



廿日市記念病院

TEL (0829)20-2300
FAX (0829)20-2301
URL <https://www.seifu.or.jp/hmh/>
E-mail hmh@seifu.or.jp

